

# 居場所の現状分析プロジェクト(仮)の設置に向けて

## R4.4 重層的支援体制整備事業 開始

▶ 重層的支援体制整備事業とは

既存の取組を活かしつつ、複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を構築するため、「相談」「参加支援」「地域づくりに向けた支援」を一体的に実施する事業

社協×市(地域福祉課)でこれまでの取組を評価(振り返り)

↓

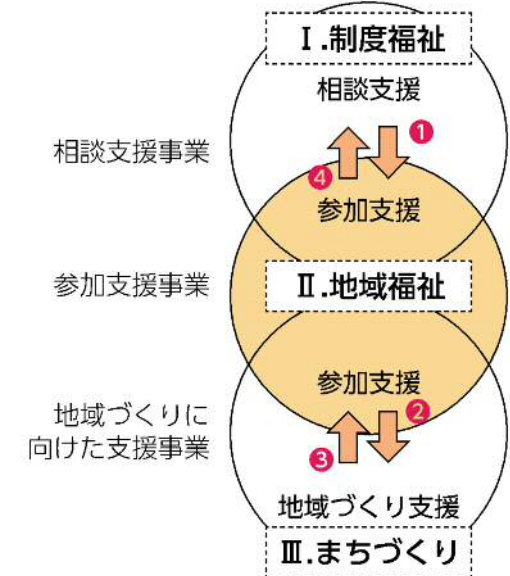
3つの支援を一体的に進めるために、参加支援がポイントになりそう!

↓

現時点で「参加支援」につながっていると思われる取組は様々あるが、その内容や活用状況等は十分に把握しきれていない

↓

関係者と現状について話し合ってみよう  
(プレミーティングを開催)



3つの支援の一体化の構造

評価指標開発委員会・平野隆之 編、  
「重層的支援体制整備事業における評価活動のすすめ」P21

# 居場所の現状分析プロジェクト(仮) プレミーティング開催(8/19)

## ▶ メンバー(敬称略)

障がい者基幹相談支援センター 三芳 / 自立相談支援事業 黒田 / 就労準備支援事業 佐藤 /  
第1層地域支え合い推進員 小阪 / 地域福祉課 岡本・横道

## ▶ 話したこと

- ・メンバーが把握している「居場所」の活用状況の共有

## ▶ 今後に向けて

- ・各分野が把握している・実施している「居場所」の現状分析
- ・本人のニーズや状態に合わせた「居場所」のマッチング(居場所間のネットワーク構築)と開拓
- ・「居場所」の多機能化に向けた取組

